修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

（財）全国修学旅行研究協会

第20回通常総会開く

建設的討議で盛上げ

運動推進の強化策も決定

（財）全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）の第二十回通常総会は陽春を思わせる暖かい二月七、八日の両日、熱海市の新熱海ホテルを会場に開催。多くの来賓や山本理事長をはじめとして全役員、支部長のほか友誼教育団体代表など約百名が参集、提案の諸議案に対して熱心な審議を行ってこれを可決、本年度の画期的な新路線に沿って前進がはじまった。なかでも修学旅行の改善向上と研修旅行の質量両面にわたる強化拡充および組織の完璧化が重点項目となっており、審議に当っては活発な建設役意見が続出するなど真剣な雰囲気の中で会議は進められた。（関連記事と写真、三面にも）

第一日は七日午後一時、永井常務理事の開会のことばではじまり議長には成瀬理事と篠崎佐賀県支部長を選出、書記には小泉研究部長、曽田大阪事務所長を任命した。山本理事長が別項の通り挨拶を述べたあと来賓祝辞、祝電披露があり、前田事務局長から会務報告が行われた。

議事にはいり第一号議案「昭和五十三年度事業ならびに収支決算に関する件」第二号議案「昭和五十四年度事業ならびに収支予算に関する件」を前田事務局長が提案説明、これを承認可決した。

このなかで新しく支部長に就任の駒井徳左衛門氏（滋賀）楠原信一氏（千葉）伊藤深氏（愛媛）をそれぞれ紹介、また符野政一氏（千葉）西岡権治郎氏（大阪）の逝去に哀悼の意を表した。

第三号議案「昭和五十四年度修学旅行の改善向上に関する件」は修学旅行特別委員長の魚谷理事から提案趣旨の説明が行なわれ、基本方針として①調査研究活動②改善運動の展開を挙げ、目標には①総合学習の場としての修学旅行の意義を究明するための教育的課題②人命尊重を第一義とし、輸送上の事故絶滅、宿舎などの施設・設備と衛生管理に万全を期する安全性の確保③高騰をつづける旅行費については父母、教師の関心が高まる現状にかんがみ、本年度は費用の軽減対策に取り組む、などがあげられた。

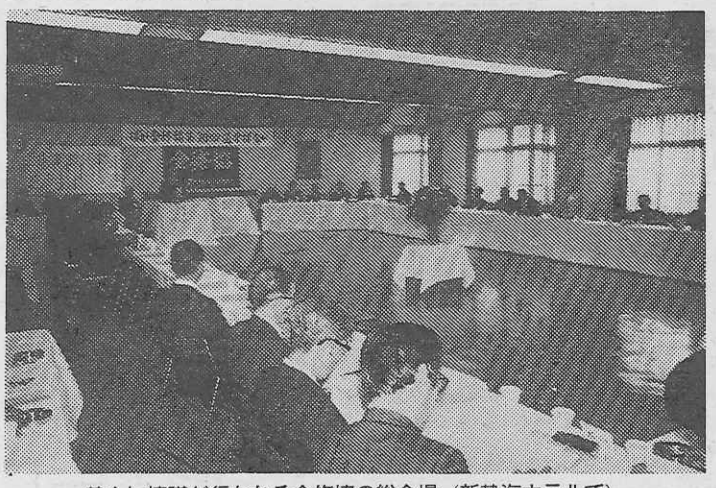
また、そのほかの対策としては①全修協内に設けられている修学旅行特別委員会運営の活発化②研究協力校による研究発表会の開催は関東地区で埼玉県を予定③三地区修学旅行連絡協議会は六、十一月に、また関東、東海、近畿の各地区では五月から十二月まで開く。さらに「修学旅行の問題点とその解決策」をテーマとする研究座談会や、現地研修会、視察会を開催する。

第四号議案「退職教職員ならびに海外研修旅行の実施に関する件」は青山理事が提案。すでに昨年の地区会議で決定した基本線に添い、退職者向けの研修旅行を強力に進める。具体案は別資料によって検討、また、海外研修旅行も四季に亘って実施することを協議してこれを決定した。海外は七コースにたっている。

つづいて別会場で地区会議を開いたあと第一日を終了、記念撮影もあり夜は懇親会、などやかな歓談に花が咲いた。

第二日は午前八時四十五分から再び全体会議が開かれ、代表者による地区別会議の報告があった。

最後に山本理事長が挨拶に立ち「長時間にわたるご審議に対し厚くお礼を申しあげる。本部は総力をあげご承認の事項について最善の努力をいたしたい」と述べたあと村山常務理事の閉会のことば、永井常務理事の発声で全修協発展のために万歳を三唱、午前十時、第二十回通常総会の幕を閉じた。



熱心に協議が行われる全修協の総会場（新熱海ホテルで）

教育振興へ努力誓う

＝国際児童年を迎え＝

財団法人・全国修学旅行研究協会理事長　山本種一（挨拶要旨）

昨年は円高不況や、低迷する経済情勢、激動する社会と荒廃す。

民俗学の柳田国男氏が「旅行論争の高まる教育界の渦中にあって、全修協は修学旅行の改善向上を通じて青少年教育への寄与と、研修旅行を通じて教職員の福祉と生涯教育に貢献する二大基幹事業を中心とする運動を展開してまいりました。運動はいずれも着実に前進をつづけ、初期の成果をあげつつ教育界に貢献するところ大なるものがありました。

これはひとえに本部理事をはじめ各県支部長各位の同志的団結による力強い支援と、組織内外のかたがたのご理解あるご協力の賜とそんじ、心から感謝申しあげるしだいであります。

修学旅行と研修旅行は、いずれも旅の形で行われる教育活動であり、福祉活動であって、集団生活の中で人の心のふれあいと連帯を生み、人間形成の上で重要な役割を持つものでありまと歴史」の中で「旅をすれば人を知る。人を知ることが人間最高の楽しみであり、魅力であるし」といい、人はいつでもわれわれにとって最も興味ある題目であるといっております。

また、桑原武夫氏は、アメリカやソ連へ行って日本の修学旅行の教育を説明し、修学旅行の専用列車や専用汽船のシステムを話すと、彼らはびっくりしてその現実的な教育方法に感心するといっております。

小中高校生が修学旅行で自分の国の文化、産業、自然を見て歩き、国民がじぶんの国の首都を見ている率を統計でとってみれば、恐らく日本は世界最高であろう。ともかく何を見たということよりも、こういう旅行をすることに象徴される精神の広がりというものに価値があると「国際児童年」のスタートに当って日本教育の振興に寄与せんとする全修協は、その活動の基盤である組織の充実強化をはかり修学旅行の研究と実践の母体である地域修学旅行委員会の充実と拡大につとめ、青少年の心に感動と喜びを与える新しい修学旅行の創造に全力をあげて取り組みたいとぞんじます。

一方、福祉運動としての研修旅行についても、時代に対応する新しい角度から研修のありかたを追求し、二十年の伝統と経験を生かした全修協独自の研修旅行を実施して、大いに教育界の期待にこたえる所存です。一層のご協力とご支援をお願い申しあげてご挨拶といたします。

来賓

▽関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行委員会会長・永山美知雄氏（関東地区公立中学校修学旅行委員会会長、水戸市立第二中学校長）▽全国教職員福祉団体連絡協議会会長・槙枝元文氏（代理・日本教職員共済会副理事長・千葉直氏）▽全国教職員互助団体協議会会長・佐野五佐男氏）代理・同事務局長・福島愛次郎氏（▽近畿日本鉄道株式会社社長・富和宗一氏（代理・同取締役業務局長・赤尾公之氏）▽近畿日本ツーリスト株式会社取締役社長・明石孝氏▽同取締役販売推進部長・福原賢次氏▽関西汽船株式会社取締役社長・神野純一氏（代理・取締役西田長雄氏）＝以上順不同。

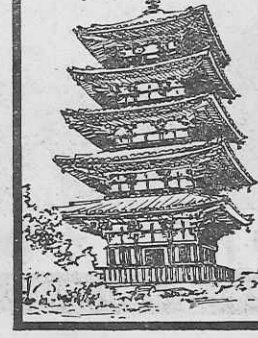
祝電

▽衆議院議員・原田憲氏▽同・長谷川正三氏▽同・吉田之久氏▽湯山勇氏▽同・小川仁一氏▽参議院議員・安永英雄氏▽日本教職員組合中央執行委員長・槙枝元文氏▽関東地区中学校修学旅行委員会運営委員長・高橋昇敏氏（埼玉県八幡木中学校長）▽東海三県中学校修学旅行委員会委員長・藤岡太郎氏（岡崎市立甲山中学校長）▽近畿二府四県修学旅行委員会委員長・門野敬男氏（八尾市立大正中学校長）▽田尻貫氏（宮崎県支部長）＝以上順不同。

風紋

ことしは暖冬で、ウメの花も早や早やと咲き、ふくよかな春の香りを放っている。ウメは中国が原産地で、わが国には七百年ほど前に渡来したという。「古事記」や「日本書紀」には見当らぬが、最初に現われるのは漢詩集の「懐風藻」である。「万葉集」には百九十首もあり、この頃からウメに対する鑑賞が始まったらしい▼平安時代初期までは花といえばウメであり、それがサクラに変わるのは平安中期といわれる。ウメの語源は中国のウメイ（烏梅）とか、ウムイ（梅実）がなまったものとかいうが、定説はない。栽培品種には花香美豊後、長楽、養老、曙などがあり青森県が北限である▼ウメの名所は水戸の偕楽園をはじめ全国的に多いが、なかでも福岡・大宰府天満宮のウメは菅原道真の故事で名高い。道真が筑紫へ向けて都を立つとき「春風吹かば…」とよんだが、やがてウメの小枝が大宰府に飛んでいって根づき、今でも天満宮の境内に飛梅として残っている。「とびうめ号」という北九州地区修学旅行専用列車の愛称ともなった▼「万葉集」巻五にはウメの歌が三十首以上もならび壮観である。筑前守であった山上憶良も「春されば先ず咲く宿の梅の花ひとり見つつや春日暮らさむ」とうたっている▼昔から「梅は食うとも核食うな」といわれるが、熟すればその核も無害だという。ただ核は天神さまといって道真にゆかりがあるので核を食べると文字を忘れるという言い伝えによるためである。食品としてウメの実は重宝がられており、樋口清之博士によると、多量の米と一粒のウメ干しは胃の中で九九％米の酸性を中和し、カロリーが胃に吸収される習性があり、日の丸弁当は労働のエネルギー源だと激賞しておられる▼兼好法師は「一梅の匂いぞいにしへの事も立ちかへり恋しう思いでらるる」（徒然草）と書いているように、ウメの花は思い出を誘うロマンティックな匂いを漂わせて咲き競う。（は）

学ぶ、残す、
自己を見い出す
修学旅行にしたい。
ツーリストが
お世話します。
ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランで——すばやくお応えしています。



近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN
思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15 ☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ
関西汽船

退職者向けコース

ゆっくりと研修の旅

ご家族、友人とどうぞ

ことしの全修協企画による教職員研修旅行は多岐多様にわたっている。とくに本年からは春と秋に退職の教職員を対象にしたコースが登場、ゆっくりと旅が味わえる。全修協二十一年の経験をもとに立案され、安全で費用の低廉さは他の追従をゆるさないところである。全国の退職教職員の組織を通じて募集を開始している。春のコースの一部は次の通り。なお期日、会費などは地区、県によって相違があるのでそれぞれの支部や団体にお問い合わせのこと。

吉野と高野山

【第一日】東京（または京都、新大阪、岡山、博多）―新大阪―堺・南宗寺（桃山式枯山水の庭園など）―和歌山城―紀三井寺・多宝塔（和歌浦の眺望）―新和歌浦泊。

【第二日】新和歌浦―紀伊風土記の丘―根来寺（新義真言の道場・反骨の寺）―九度山―高野山（御影堂、不動堂、奥の院など）―高野山泊（真言密教についての講話）

【第三日】高野山―橋本―五条・栄山寺―吉野（如意輪寺・吉水神社・蔵王堂などのほか上の千本の桜）吉野泊。

【第四日】吉野―壺阪寺―橿原神宮―橿原―（近鉄）―京都―東京（または京都、新大阪、岡山、博多）

実施＝近畿を除く全地区。

彦根・若狭と天の橋立

【第一日】東京（または京都、新大阪、岡山、博多）―米原―湖東三山（西明寺・金剛輪寺・百済寺）―彦根（彦根城・玄宮園）―彦根泊。

【第二日】彦根―長浜・大通寺―賤ケ兵―（奥琵琶湖パークウエイ）―海津大橋―今津―小浜―明通寺（本堂・三重塔・深沙大王像）―小浜泊。

【第三日】小浜―瓜洞門めぐり―小浜―舞鶴（金剛院・五重塔）―宮津（文殊堂）―天の橋立―一の宮（傘松公園・成相寺・籠神社）―天の橋立泊。

【第四日】天の橋立―京都（嵐山）―京都―東京（または博多）

実施＝近畿を除く全地区。

四国路

〈オリーブの島と金刀比羅詣で〉

【第一日】東京（または新大阪）―姫路―飾磨―福田―南風台―太陽の丘―（寒霞渓ブルーライン）―銚子渓―土の庄泊。

【第二日】土の庄―高松―屋島・屋島寺―栗林公園―五色台―琴平・金刀比羅宮（自由参拝）―琴平泊。

【第三日】琴平―土庄―眉山―徳島市内（十郎兵衛屋敷など）―鳴門公園泊。

【第四日】鳴門―福良―洲本―岩屋―明石―西明石―東京（または新大阪）

実施＝北海道、東北、関東、北陸、東海地区。

近畿地区のコース

▽鞆の浦とタイ網漁（一泊二日）▽鳥取砂丘と新緑の蒜山（一泊二日）▽新緑の角館・十和田（二泊三日）▽能登半島（二泊三日）▽水郷柳川と小京都・日田（二泊三日）▽北海道一周交歓（四泊五日）

新春の旅

飯田きよし

松つけて仁右衛門島の渡舟
フラワーセンターに正月もなく働けり
初凪の伊豆の子浦のレストラン
松立てて遊覧船の島巡り
初凪の太地の浜の風見鶏
走り湯の湯宿に冬の涛を見る
大塔の宮の首塚椿咲く

北海道知事賞完成

道観連賞も　昨年度写真コンクール

昨年度教職員研修旅行写真コンクールのうち北海道知事賞と北海道観光連盟賞が出来あがり、入賞者にそれぞれおくられた。賞状のほか、金色の王冠と花模様を散りばめた豪華な楯。北海道知事賞は「夜の知床五湖」の小林麗氏（青森市長島一―四―八）同観光連盟賞は「野付半島トドワラB」の川田勇氏（宇都宮市鶴田町一九五七）である。（写真上が北海道知事賞、下は北海道観光連盟賞）

前田　英雄氏（全修協本部事務局長・前田寛氏の父）二月二十日午前八時四十五分、老衰のため市川市・市川病院で死去。八十二歳。告別式は同二十一日午前十一時から市川市相之川団地集会所で執り行われた。自宅は市川市相之川一―七―A―一四〇九。

研修旅行の作品

海と闘う自然の姿

＝吉野・十津川・南紀②＝

井上　西三

村人たちは昔より
勤皇の志厚ければ
明治維新にあたりては
全村士族に列せらる
白鳳いらい千二百年
免税されしも本村なり

○

十津川を渡して長さ三〇〇㍍
川面を離る五〇㍍
谷瀬の吊橋の向うには
護良親王熊木御所跡
しばし下流の左岸には
長慶天皇ご奉祀の
国王神社鎖まれり
十津川温泉の竹林荘
二津野貯水池畔にて
七十五度の高温は
露天風呂さえ備わりて
旅の疲れを忘れしむ
内湯風呂の周りなる
人の顔せる積み石は
まばたきもせず默然と
湯浴みの姿ながめおり

○

熊野信仰の中心地
本宮大社はオ媛の
和泉式部の故事伝う
新宮鎮座の速玉大社
那智山中の那智大社
二つの宮の境内に
平重盛の手植えせる
ナギとクスノキとの老樹あり
有為転変をながめつつ
齢は数う八百年
新宮の駅にも近き徐福の墓
天守台・石垣のみの丹鶴城
いずれといわず世の人の
心を誘ういわれあり

○

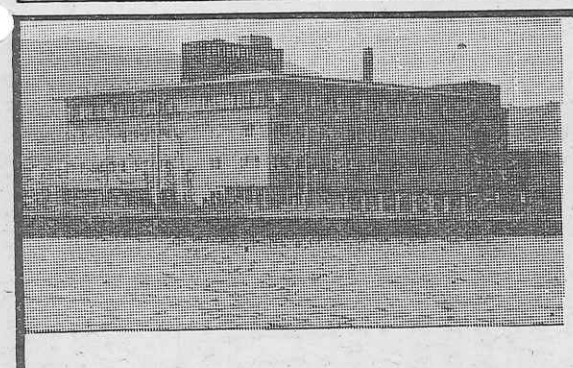
那智大滝を横に見て
青岸渡寺と那智大社
相隣して並び建ち
神仏混こうの相のこす
吉野・熊野国立公園を始めとし
瀬戸内海国立公園に至るまで
和歌山県の海岸は
何処に行くもすばらしき
大景観を展開す
那智勝浦の忘帰洞
有馬皇子が七世紀
半ばの頃の旅しのぶ
道成寺縁起絵巻を残したる
文武天皇勅願の
川辺の町の道成寺
紀道成が奉行にて
大宝元年（七〇一）の創建なり

○

高野に住める空海が
九度（ここのたび）毎月山を下り
来て
母を訪れ尽しが
九度山町の名の起り
大正末の修学旅行
競走しつつ登りたる
高野山には電車あり
ケーブルカー、自動車道も完備し
て
林間学校の小学生、自然を求め群
集す
ただ変わらざる宿坊の
精進料理なつかしく
お山の一夜静かに更けぬ。

（三島市南田町九番二号）

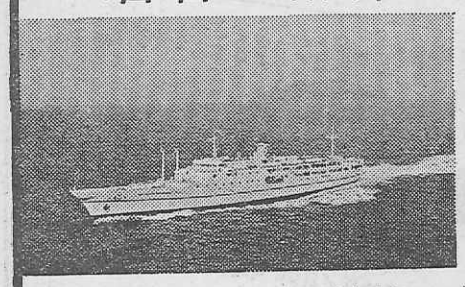
紀の松島に橋杭岩
陸繋島の潮岬
白浜三段壁の洞窟や
千畳敷や円月島
長き年月外洋と
戦い来たりし跡示す
「家に有れば筍に盛る飯を草枕、
旅にし有れば椎の葉に盛る」
白浜温泉に浸りつも



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2―25　電話　大津(0775)24―2321

富士の美しさが眼前
樹海の中の国民宿舎
標高1,000メートル、赤松樹海に囲まれた白亜のロッジ。森林公園や陶芸教室などの他ハイキング、テニスコートなど楽しみも豊富です。もちろん修学旅行にも最適の環境にあります。
富士山北ろくの国民宿舎
富士スバルランド
予約センター☎05557―2―2236

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）
・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし
Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1―3―11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

別府あじむ高原
アフリカンサファリ
AFRICAN SAFARI
タンザニア・マハリマウンテン国立公園姉妹パーク
〒872 大分県宇佐郡安心院町　TEL(09784)8―2331(代)
東京事務所　文京区湯島4―6―11　TEL(03)816―4843
●営業時間　午前9時～午後5時〈3／16～11／15〉
〈冬期間〉　午前9時30分～午後4時〈11／16～3／15〉
●修学旅行料金　高校生900円、中学生600円、小学生500円

訪れるたびごとに野性のドラマが。
動物に学ぼう。動物は生きた教材。　●広さ115万㎡　●飼育動物頭数1,300頭羽